

# まち芸

町田の丘学園 芸術活動報告  
「まち芸」第3号  
平成30年5月21日発行  
都立町田の丘学園校長  
茂木 裕之

## 町田の丘学園の芸術活動について

新入生の皆様、ようこそ、町田の丘へ。連休も終わり、学校生活にも慣れてきた頃でしょうか。町田の丘学園では、東京都教育委員会の指定校として芸術教育推進事業に取り組むとともに、様々な面での芸術活動を推進しています。

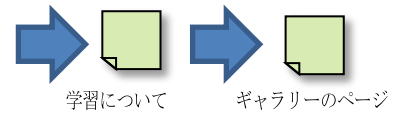
里山に恵まれたこの地域で、そして空が広くてま〜るく見えるこの丘の上で育った町田の丘学園の子供たちの感性と個性は他にない豊かなものです。その力と作品を美術教育を中心とした芸術活動で発揮した成果として、このお便りやHP、作品展で発信しています。

是非、児童生徒の活動と、作品等に御期待ください。

児童生徒の作品をHPで御覧いただけます。

まちおかギャラリーへの進み方  
町田の丘学園ホームページ

[www.machida-sh.metro.tokyo.jp](http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp)



## 芸術教育推進事業 指定校2年目

昨年度は、高等部2年生を対象に、「生活を豊かにする」をテーマに、オリジナルの皿やスプーンを作りました。東京藝術大学から専門の先生をお迎えし、道具も藝大の本格的なものをお借りして、日本の伝統工芸技術である鍛金や彫金などの金工技術を使つての制作でした。

また、3年間の活動を目指して、桑和紙すきの研究授業も展開しました。

今年度は、その「桑和紙すき」をメインに、どの学部でも取り組める制作活動にしていきたいと考えています。

### どうして、桑和紙すき？

はい！ 町田は八王子につながる「絹の道」の要所として、かつて養蚕業で栄えた地です。その名残の桑畑が、町田の丘の周辺にあります。学校の校庭の片隅にも、伸び伸びと育った桑の木があるのを御存じでしょうか？ 是非、この歴史と地域の特性を生かした造形活動に地域とともに取り組みたいと考え、「桑和紙すき」を推進時事業に取り入れることにしました。

桑からどんな和紙ができるのか、できた桑和紙からどんな作品が生まれるのか、御期待ください。



昨年度の金工（鍛金、彫金、しぼり）のよる皿



桑和紙すきの様子⇒

### 「お世話になります。」東京芸術大学の先生方

#### 芸術教育推進事業担当の先生方

白田 祥章 先生 (カラー写真 左)

武内 優記 先生 (カラー写真 右)

#### 今年度 町田の丘担当の先生

出居 麻美 先生

★次号で写真での紹介をさせていただきます。



## 「ラッピングバス」が走っています！

昨年度、第3回アートプロジェクト展に入選した作品が、大きな写真シートになってスクールバスをラッピングしています。

《本校 成瀬コース 山崎校舎 森野コース》のバスの両側面に2作品ずつ4作品が貼られています（森野コースは本校の3作品のみです）。そのうち3作品が町田の丘学園の生徒の作品です。

B高2年 安藤 翼さん「夏空」  
B高3年 岡村知輝さん「藍染てぬぐい」  
H29年度卒業生 山下雄平さん「ヘビクイワシ」  
成瀬コースのもう1つは、多摩桜の丘学園の生徒さんの作品です。

今年度1年間、ラッピングバスとして運行いたしますので、機会がありましたら御覧ください。



本校 成瀬コースのバス



山崎校舎 森野コースのバス

## 「アートキャラバン展」が始まります

ラッピングバスに掲載された作品を含むアートプロジェクト展入選作品は、今年1年間を通じて様々な会場で展示されます。町田の丘に近いところでは、多摩図書館が決まっています。開催日等の詳細については、分かり次第お知らせいたします。